館報 千代

第２８６号
発行
千代公民館
編集
広報委員会
印刷
有限会社飯田写真印刷

＜千代の人口＞
平成28年４月末日現在
男　846名（－８）
女　914名（－２）
合計 1,760名（－10）

祝 野池御柱祭

平成二十八年四月十日（日）

御柱式年祭がおわって

野池神社氏子総代長　大平　宏

平成二十八年丙申の野池神社御柱式年祭も無事終了することが出来ました。これも千代・千栄の皆様を始め、千代出身の方々、個人の御協力、飯田地域の企業の御協賛の賜物と、感謝申し上げます。元木祭、小場出し、里曳き、ともに天候にもめぐまれました。建御柱には神社境内に人々があふれ、これだけの人達が集まってくれた事に感動しました。約二年をかけて準備して来たものが無駄ではなかったと確信しました。

小場出しには野池、芋平両区の男性、女性、子供達皆が参加され、里曳きの特別曳行区間に多くの人達が参加され、小中学生の子供木遣りも立派に成され、建御柱も従来の方法で行う事が出来、過疎化が言われている千代地区ですが、お祭にはこれだけパワーがあるんだな、と思いました。この祭に参加された人達が、七年後に再び参加され熱中される事を願い、次回の御柱祭への引き継ぎをしっかりしたいと思いました。本当にありがとうございました。

賑わう境内の様子

野池神社御柱祭に寄せて

ふるさと千代会　山﨑節雄

野池神社御柱祭が行われ私もふるさと千代会の先輩方々と一緒に曳子として参加した。安全祈願祭の後御縄を受け取り、鯉の沢まで移動、そこから男木を先頭に曳行開始、途中子供たちの元気な木遣り、勇ましい不動太鼓、軽快なファンファーレ、そして沿道の見物客の皆様の声援などで気持が盛り上がった。一方、一般・子供・女性の皆様が御柱曳行に参加、親子で綱を引いたり写真を撮ったり和やかな光景が見られた。曳行は順調に進み定刻に昼食休憩場所に到着。ここで一時間程昼食休憩をとり出発、里曳き最大の難所神田曳き上げも曳子全員の力を一つにして無事乗り越えた。御柱を境内に曳行し神社で行われる建御柱を待つ。人力で綱を引っ張り男木、女木を無事建て終えると、境内には大きな歓声と拍手が響いた。御柱が成功に終わり参加者の爽やかな笑顔が溢れていた。今回曳子として参加して充実感を味わう事が出来て幸せでした。準備にご苦労された地元の皆様有難う御座いました。

建御柱の様子

難所の神田の曳き上げ

受け継がれる伝統

木遣り連、野池の榊山加菜さんは半年前から練習を始めたそうだ。「本番ではメンバーが全員木遣りを掛けられて良かった。木遣りがないと一斉に力を合わせて木を曳けないことを実感した。地域の方と交流ができ、自分にとって本当に良い経験ができた」と語った。

御柱祭で子供きやりをやって

榊山智樹

ぼくは、初めて子供きやりをやってみてとてもやりがいのある事だと思いました。御柱祭という大切な七年に一度のお祭で声をかけて柱を動かすことができるのはとてもいい経験だと思うし、千代という地区の行事に触れるいい機会でした。

また、ご指導してくださった関口かねよしさんや、公民館長の北村さんや主事の新井さんにも練習でお世話になり、御柱祭で大きなきやりを歌う事ができました。

沢山の方々のおかげで、とてもいい経験が出来たと思いました。

イナズマ

松谷みよ子さんをご存じだろうか。松谷さんは昨年お亡くなりになったのだが、日本で一番読まれている絵本作家である。

長女が六ヶ月位の頃、千代公民館で乳幼児学級があった。市立図書館の方から読み聞かせの大切さの話があり、おすすめの本を紹介してもらった。松谷さんの「いないいないばあ」もその中の内の一冊だった。

この絵本はくまちゃんやねこちゃんがいないいないばあをするという単純なものだが、長女のお気に入りになった。特に、ぐずる時や動いてオムツを換えられない時にこの本を見せるとご機嫌が良くなり助けられた。私にとって魔法の本だった。ぼろぼろになるまで読んで、何回かテープで直したが、修復不可能になり二冊めを買った。長女だけではなく、二女も三女も赤ちゃんの頃、この絵本が大好きだった。

今でもこの絵本の表紙を見るだけで、子育ての大変だった事や楽しかった事、いろいろな事が思い出される。

松谷さんはたくさんの赤ちゃんとおかあさんを笑顔にしたくてこの絵本を作ったそうだ。我が家もたくさんの笑顔をもらった。

いつか孫が生まれたら、この絵本をプレゼントして読んであげたいと心待ちにしている。

平成28年度 まちづくり委員会スタート

元気に前向きに!!

千代地区まちづくり委員会
会長　川手重光

新年度もいよいよスタートをしました。元気に前向きに頑張りますので、よろしくお願いします。

一、千代地区にもうすぐ三遠南信自動車道天竜峡大橋がかかり、待ちに待った時が近づいて来ました。

地域全体で供用開始の時に向けてどうしたら良いのかを考えて行きたいと思います。

二、「健康で生涯現役」をめざしましょう。

昨年は、田力、八ノ倉地区の皆さんで実施した事を地域全体で取り組みたいと思います。

寝たきりにならない、ピンピンして生涯現役で動きまわりましょう。

「プラス10」、自分なりの運動を毎日10分間増やしましょう。

三、人口を維持したい。

地域の大問題は人口減少です。全国どこでも、この問題は重要です。

千代ってすごい良い所だと思います。この事を全国へ発信します。Ｉターン者、Ｕターン者を増やしたい。

「地域おこし協力隊」の受け入れをして具体化して行きたいです。

皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

人が育つ公民館

千代公民館長　北村勝志

四月、十八名の入会者が集り、「万古渓谷会」が発足しました。千代の宝である万古渓谷の保全が目的です。

七月三日（日）、会員同士の親睦を目的に沢渉りを計画しました。興味がありまだ申し込みされていない方は、ぜひ入会を。

公民館四つの委員会、体育、文化、広報、青少年育成、それぞれの委員会、しっかりと協議を重ね中身の濃い事業を心掛けていきます。市民運動会は、市長選予定の為に例年より一週間早まります。文化祭は、今年は芸能発表の年となり、多くの皆さんの申し込みをお待ちしております。館報千代は、年六回の発行、行事、事業等の取材を求め読みやすい館報作りを、青少年育成委員会によるウォークラリーは、初めてとなる大郡地区を、地区の方々の協力を得ながら子どもさん達に喜んでもらえるようなコース作りを目指します。

又、本館事業、Ｄブロック事業等、参加者が笑顔になれ、公民館役員が地区のリーダー的存在になれるよう、一人一人が、自覚と責任をもって、公民館活動に取り組みます。地区の皆様方の温かい応援を宜しくお願い致します。

就任挨拶

◆会計兼総務社会部長　吉澤富夫

本年度千代まちづくり委員会総務社会部長を仰せつかりました、田力の吉澤で御座います。微力ではありますが地区の皆様の御指導御協力を頂きまして精一杯務めさせていただきますので宜しく御願い致します。

まちづくりのめざす地域はこの地で子供が生まれ、育ち、働き、結婚し、家族の暮らしが日々営まれ世代が受け継がれていく姿です。千代の最大の特色は、豊かな自然環境にあり、人が自然と同化して暮らすには絶好の場所です。域外との交流人口の拡大を通じてＩＵターンを積極的に受け入れ人口の減少対策を進めて参ります。

総務社会部ではそして何よりも地域に暮らす方々が、自らの行動により「ここに暮らして良かった」と思えるような地域づくりをサポートしたいと考えています。多くの皆様の御支援をよろしくお願い致します。

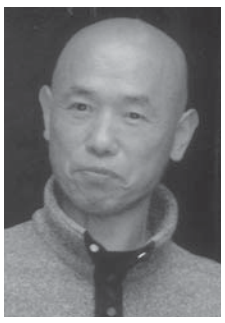
◆産業建設部長　渕田隆

今年度千代まちづくり委員会産業建設部長を仰せつかりました。法全寺の渕田です。何分にも微力ではありますが地区の皆様方の御指導、御協力を頂いて、一年間、宜しくお願いします。

地区には様々な課題、問題が山積しております。まず道路の改良については、市の土木課と協議をし地区要望が一路線でも多く改良されるよう取組みます。

こね田んぼの保全活動については、今年度は一部に藤ばかまの苗を植栽し、アサギマダラの舞う棚田にしたいと思っております。又、三遠南信自動車道については、天竜峡大橋の建設工事が始まり数年後には千代インター（仮称）、飯田東インター（仮称）が開通します。それに合わせて、地区でのインター周辺、三遠南信自動車道への関りについて、早急に考えていかねばならないと思います。開通迄の間に充分に検討、研究を重ねて、三遠南信自動車道を有効活用できるようにして地区の発展の礎としたいと思います。皆様方の御支援、御協力を宜しくお願い致します。

◆地域振興委員長　小澤清



この度地域振興委員長をお受けすることになりました。皆様方の御支援・御協力頂きながら千代のために頑張ります。人口の減少化少子化等問題も多くありますが。住んでいる私達が千代を誇りに思う気持が大事ではないでしょうか。

色々なイベントにも積極的に参加をして行きます。

千代河鹿がえる祭り、千栄こども夏祭り、文化祭、芋平獅子舞保存会、又、千代野外音楽祭での数々の音楽は必見の価値があるかと思います。大きな花火大会も他でもありますが、間近で見る山村広場での花火は

役員名簿

地域協議会
会長　市瀬鎭夫（法全寺）
副会長　澤柳勝夫（米峰）
委員　川手重光（米川）
北村勝志（米川）
大平みさゑ（野池）
関口孝子（法全寺）
金田トヨ子（米峰）
松嶋克子（下村）
清水政満（大郡）
松澤　晃（八ノ倉）
川手　剛（法全寺）

千代地区まちづくり委員会
会長　川手重光（米川）
副会長　藤本照之（下村）
会計　吉澤富夫（田力）
◇総務社会部
部長　吉澤富夫（田力）
副部長　篠田敏秀（山中）
副部長　清水俊一（八ノ倉）
委員　佐々木賢則（米川）
伊藤増子（米川）
竹下英子（毛呂窪）
◇産業建設部
部長　渕田　隆（法全寺）
副部長　岡田　温（芋平）
副部長　長沼操二（大郡）
委員　林　英明（萩坪）
榊山信雄（野池）
竹下雅一（米峰）
竹下正幸（毛呂窪）
北澤まさ子（田力）
林美津子（萩坪）
川手洋造（法全寺）
公民館長　北村勝志（米川）
生活安全委員長　萩原和生（萩坪）
健康福祉委員長　伊藤敏夫（毛呂窪）
環境保全委員長　林　厚司（萩坪）
地域振興委員長　小澤　清（大郡）
農業委員　川手洋造（法全寺）
監事　森山賢治（法全寺）
宮下賢一（野池）
顧問　林　邦久（毛呂窪）
相談役　藤本良人（田力）
幹事・センター長　伊藤久子

生活安全委員会
委員長　萩原和生（萩坪）
副委員長　川手浩治（毛呂窪）
副委員長　川手富美江（法全寺）
執行部　渕田　隆（法全寺）
岡田　温（芋平）
委員　北澤幸夫（田力）
嶋岡實代生（田力）
林ふよ子（萩坪）
辻元孝博（芋平）
辻元啓子（芋平）
榊山泰道（野池）
北澤琴美（野池）
須藤友介（米川）
西尾芳子（米川）
関口亮蔵（法全寺）
近藤俊彦（山中）
近藤朝子（山中）
長沼博明（大郡）
楯由美子（大郡）
林　博（米峰）
竹下善志子（米峰）
山崎ほづえ（毛呂窪）
林　信政（八ノ倉）
松澤美雪（八ノ倉）
竹下　薫（下村）
清水由理（下村）
交通安全指導員　渕田　隆（法全寺）

健康福祉委員会
委員長　伊藤敏夫（毛呂窪）
副委員長　小澤智子（米川）
執行部　清水俊一（八ノ倉）
委員　萩元文雄（田力）
林　統司（萩坪）
櫻井　登（芋平）
北澤　勉（野池）
川手高男（法全寺）
山田修市（山中）
長沼英子（大郡）
宮本とき子（米峰）
清水　徹（八ノ倉）
藤本紀子（下村）

環境保全委員会
委員長　林　厚司（萩坪）
副委員長　山川貴弘（米峰）
執行部　長沼操二（大郡）
委員　藤本肇之（田力）
松下澄男（芋平）
北澤　巌（野池）
田近利昭（米川）
山崎利幸（法全寺）
北澤良祐（山中）
戸軽秀雄（大郡）
川島良一（毛呂窪）
関澤澄子（八ノ倉）
西尾忠美（下村）
不法投棄パトロール員　澤柳勝夫（米峰）

公民館
公民館長　北村勝志（米川）
副公民館長　柏木久行（下村）
公民館主事　新井康平
◇分館長・企画委員
委員長　柏木久行（下村）
副委員長　牧田正巳（大郡）
島岡浩士（田力）
岡田　温（芋平）
平光　泉（野池）
関口喜久雄（米川）
篠田春行（山中）
金田善次（米峰）
林　英敏（毛呂窪）
清水　智（八ノ倉）
◇分館主事・企画委員
林　優次（田力）
澤田芳和（芋平）
榊山　博（野池）
福澤秀則（米川）
熊谷吉行（法全寺）
楯多喜男（大郡）
澤柳博之（米峰）
林　完二（毛呂窪）
林　禎長（八ノ倉）
榊原久明（下村）

一味も二味も違います。飲んで食べて楽しいひと時を過ごしましょう。是非お出掛け下さい。私事ですが小沢あきこも出演致します。元気な千代の発展を願い皆様方の積極的な御参加を宜しくお願い致します。

公民館スタート

◆体育委員長　清水政彦

本年度、委員長としてお世話になります。昨年、久しぶりに公民館活動に参加させて頂きました。公民館の行事、作業、管理等、初めて経験する事ばかりでとまどいも有りましたが、地区の皆様を始め、公民館長、主事、役員の皆様に御指導を頂き進めてまいりました。行事の一つ一つ地区の皆様が真剣に取り組み役員の協力も有り、事業が一つ終わるごとに感動させられました。

本年度は委員長として、地区の皆様が一人でも多く参加できる行事、地区の皆様が明るく、楽しい地域づくりが出来ます様、取り組んで参りたいと考えております。役員の皆様を始め、地区の皆様、御理解、御協力、御指導よろしくお願い致します。

◆文化委員長　楯邦吉

平成二十八年度、文化委員長を務めさせていただきます大郡の楯邦吉と申します。

文化委員は二年目で経験が浅いですが、精一杯努めますので、よろしくお願いします。

本年度は『伝統文化や行事の保護、継承』『文化事業の掘り起しと育成』『ふるさとの再発見と地域づくり』の方針に基づいて進めて参ります。

今年度の文化祭は千代小学校を会場として開催しますので、大勢の方の参加をお願いします。また、女性二名の方が文化委員を引き受けていただき新風を吹き込んでいただけそうです。文化事業へ多くの方々の参加、関係諸団体の皆様、地域の皆様方のご協力と支援をお願いします。

◆広報委員長　井澤逸男

今年度広報委員長を務めさせて頂く下村の井澤と申します。広報委員会は『館報千代』を通じて身近な話題や千代の歴史に関わる事柄を丁寧に分かり易く、時には目線を変えた捉え方で記事にしたいと考えています。隔月発行で年六回発行を予定しています。

皆様から「手元に届くのが待ち遠しい」と思われる館報を目指しています。

今年度から文字を少し大きくし読み易さも考慮しました。又、館報は地域の記録としても意義があります。暫らくして読み返して頂くと懐かしさと新たな発見が有るかも知れません。

今年も十二名の広報委員が皆様のところに原稿依頼や取材等に伺う事もあります。より良き館報の為にご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

◆青少年育成委員長　竹下清彦

今年度、青少年育成委員長としてお世話になります、下村の竹下です。

青少年育成会としては、今年度も「体験を通して地域を知り、その中で人に認められ自分を知り、子も親も地域も共に育ち合う」を目的として、次の事業方針を決めました。

◆千代の「人・もの・こと」との触れ合いを

◆学校・先生だけでは出来ないことを

◆心に刻まれる思い出を

以上の目的・方針を基に、今年度も主な事業計画を立てました。

①万古渓谷栃の木ツアー

②第二十回千代地区ウォークラリー大会

③創作教室

今年度のウォークラリー大会は実施二十回で初めて、大郡地区をメインに行います。

皆様方のご協力を頂きながら、事業活動に取り組みますので、一年間宜しくお願い致します。

よろしくお願いします

戸籍担当　壬生健太

三月まで保育園勤務をしておりまして、全くの畑違いの所からやって来て、よこね田んぼの係になりました、壬生健太です。自治振興センターで窓口業務を担当しております。よろしくお願いいたします。

私は、前の仕事柄もありますが、運動やギターを弾いて歌うことが大好きだったり、とよおかむら地域総合型スポーツクラブにコーチで所属して、小学生にバスケやバレーボールの指導を行ったり、地元ママさんソフトバレーのコーチをしていましたので、そちらの方面でも、千代の皆様と交流を持たせて頂けたらなと、楽しみに考えているところです。

先ずは、地域の皆様のお顔とお名前、そして仕事を早く覚え、千代の地に馴染み、公私とも皆様にお世話になりながら、少しでも千代地区の活性化の為にお役に立てますように、尽力して参りたいと思います。

追伸、本厄の歳ではございますが、どうか避けずに、仲良くしてください。

イナズマ番外編

東京ディズニーランドは連日たいへんな賑わいをみせている。全国から多くの人が足を運び、心ときめかせる。

毎年八月上旬、飯田も心ときめく場所になる。いいだ人形劇フェスタのことである。

二年前から千代地区実行委員として参加する機会を得て、劇人や普段関わることのない千代の方と交流することが出来た。遠方から自腹で飯田まで来る劇人が多いことに驚いた。その人から「飯田の人は観る力があるから安心して上演できる。飯田はすごい」と聞き色んな意味で衝撃を受けた。小学生への指導を買って出る住民もいた。プロ劇団もさることながら千代小三年の劇も素晴らしかった。最後の歌で泣いてしまった。「飯田が日本の人形劇の首都」と言う北海道の人がいたことにも驚かされた。

今、早くフェスタが来ないかなと思っている。今年のフェスタでは、どんな人や劇と出会えるだろうか。

◇体育委員会
委員長　清水政彦（下村）
副委員長　林栄次郎（荻坪）
委員　林　繁史（荻坪）
岡本典義（芋平）
榊山健二（野池）
木下良守（米川）
関口智博（法全寺）
田中淳二（大郡）
居石　陽（米峰）
林　勝生（毛呂窪）
林　良樹（八ノ倉）
館長推薦　榊山富春（野池）
林　浩昭（米川）
長沼満夫（野池）
林　重廣（毛呂窪）
柏木英樹（下村）
スポーツ推進委員　澤柳嘉一（米峰）

◇文化委員会
委員長　楯　邦吉（大郡）
副委員長　金山和正（毛呂窪）
委員　北澤幸夫（田力）
岡本美智夫（芋平）
北澤　勝（野池）
小嶋慶治（米川）
北澤良祐（法全寺）
林　尚浩（米峰）
清水俊行（八ノ倉）
山口友博（下村）
館長推薦　北澤　繁（野池）
松本恵美子（毛呂窪）
清水博子（下村）

◇広報委員会
委員長　井澤逸男（下村）
副委員長　関口智博（法全寺）
委員　篠田佳直（荻坪）
岡田良子（芋平）
榊山博敏（野池）
半崎由香（米川）
林　敬二（大郡）
澤柳嘉一（米峰）
川手茂樹（毛呂窪）
林　佳苗（八ノ倉）
山口和泉（下村）
館長推薦　西尾みき子（米川）

◇青少年育成委員会
委員長　竹下清彦（下村）
副委員長　上野義明（米川）
委員　荻原和生（荻坪）
澤田功好（芋平）
北澤重信（野池）
篠田徳雄（山中）
楯　孝志（大郡）
高橋伸子（米峰）
川島敏彦（毛呂窪）
松澤　晃（八ノ倉）
館長推薦　太田志保里（米峰）
牧田忠弘（大郡）

○図書館千代分館
分館長　川手清加（米川）
サービス係　深尾由紀代（米川）
北澤志津子（山中）
藤本千香（田力）
森山己年（大郡）
関澤和子（八ノ倉）
藤本恵子（下村）

日赤奉仕団千代分団
分団長　大平みさゑ（野池）
副分団長　澤柳みつ子（米峰）
副分団長　中山弘子（山中）

消防団第十三分団
分団長　楯　倫明（大郡）
副分団長　川手　剛（法全寺）
庶務部長　林　俊一（大郡）
消防部長　清水優一郎（下村）

各種団体長
民生児童委員協議会　遠山良昭（毛呂窪）
遺族会　藤本良人（田力）
高齢者クラブ　西尾喜好（米川）
更生保護女性会　吉澤みどり（田力）
身体障害者福祉協会　牧田茂弘（大郡）
手をつなぐ親の会　長沼操二（大郡）
結婚相談員会　太田いく子（米峰）
ひとり親家庭福祉会　川島好子（米川）
保護司　林　隆秀（荻坪）
主任児童委員　吉澤みどり（田力）
財産区　熊谷吉行（法全寺）
猟友会　熊谷吉行（法全寺）
食生活改善推進協議会　森山己年（大郡）
婦人学級　小澤喜代子（大郡）
千代の歴史を語る会　篠田孝雄（荻坪）
どんぐりの会　北澤静子（米川）
万古渓谷会　野田充夫（大郡）
ふるさと千代会　榊山次夫
明るい選挙　北村勝志（米川）

学校・施設・事業所ほか
○社会福祉法人しゃくなげの会
理事長　小澤正昭（大郡）
○千代保育園
園長　澤田裕子（芋平）
保護者会長　村松孝浩（野池）
○しゃくなげの郷
所長　村澤博治
○千代小学校
校長　片瀬月子
ＰＴＡ会長　清水政満（大郡）
○千栄小学校
校長　佐々木俊昭
ＰＴＡ会長　松澤　晃（八ノ倉）
○竜東中学校
校長　岩瀬晴雄
ＰＴＡ会長　後藤大治
○ＪＡみなみ信州千代事業所
事業所長　松尾　学
○千代郵便局
局長　関口かおり（米川）
○駐在所　藤倉憲人

各戸を繋ぐ新たな伝説
柏原神社御柱祭

四月十六日（土）早朝六時に花火の轟が山間の集落に木霊した。下村区柏原地籍の御柱祭の幕開けである。

ここには標高差六十メートルの南向き斜面に十一戸の民家がある。下栗の里を少し連想させるこの地に午前九時頃には、優に百名を超える人々が、柏原神社御柱祭を盛大に盛り上げようと集まった。

組長の原辰蔵さんの挨拶の後「ヨイサー、ヨイサー、ヨイサー」の掛け声、喇叭隊、不動太鼓と矢継ぎ早に演奏され、いやがうえにも高揚感を覚えた。今回の里曳きは柏原十一戸の家の前を男木、女木が通る道順である。初めての試みで発案者の柏木久行さんは、「どうしても柏原を一周したい」との熱い想いを語ってくれた。急斜面もその心意気で威勢よく引上げられ、最高の祭だったとの声が多数聞かれた。小さな地区の大きな御柱祭に魅了された一日であった。

関口家御柱祭

千代法全寺の関口家による御柱祭が、五月一日（日）晴天の中執り行われた。

朝九時頃から関口家の親族ら約三十余名が集まり、神殿のお供えや曳き綱の準備を全員で行った。午前十時の花火を合図に、宮司による祝詞、ご祈祷の後お神酒により景気付けを行い、いよいよ御柱曳きが始まった。

最初は「男木」を親族の男性が勢いよく細い山道を神社まで曳き上げた。「女木」は女性が男性に負けじと曳き上げ、神社両脇に全員により建てられた後、餅投げにて御柱祭が無事終了した。

数百年続いた関口家御柱祭も、氏子の減少と高齢化により継続が困難との理由で、残念ながら今回で最後とのことであった。

直会では最後ということもあり、過去の御柱祭の思い出を親族で遅くまで語り合っていた。

ご入学おめでとう!!

千代小学校　1年生6人

左から
田中愛莉、小田来奈、林遥佳、小澤研二（担任）、小澤太樹、福澤優衣、市瀬トーヴェン・リー

千栄小学校　1年生6人

上段左から　山崎優哉（担任）、清水颯希、川上真義、高橋慶多
下段左から　知念瑠花、足立おりひめ、藤本心美

お世話になりました
前戸籍担当　吉川徳典

「いつからお米屋さんになったのぉ～？」と子どもに言われたのは懐かしい想い出。このたび四月一日の人事異動により福祉課配属となりました。千代自治振興センターでは三年間、皆様に大変お世話になりましたこと、厚く御礼申し上げます。

着任当初より様々な方々へ多大なるご迷惑をお掛けしましたが、三年間務めることができたのも地区の皆様の支えと温かいお言葉だと感謝しております。また、棚田百選であるよこね田んぼや体験修学旅行など数えきれないほどの貴重な経験を得ることができました。ここで得た様々な経験は大切な宝物となり、これから活かしていかなければならない事だと感じています。

最後になりますが、地区の皆様がご健康でご活躍されますことを心よりご祈念申し上げます。ありがとうございました。

歴史講座　千代の人物伝　シリーズ⑥
清水直夫

清水直夫は下村屋号浜井場で輝逸の長男として、明治二十七年十月十日に生れる。小学校を卒業して、飯田中学校に入学する。校舎は現在の飯田市美術博物館の場所にあった。五年間徒歩で通学し卒業する。第十三回卒業。徴兵検査甲種合格する。豊橋六〇連隊へ入営幹部候補生甲種合格する。正八位陸軍歩兵少尉に任命され除隊する。家業の農業に従事する。千代青年会長、消防団長、在郷軍人分会長等歴任する。千代村でも国策にそって満洲へ分村を決定する。団長を村から頼まれ引受ける。昭和十四年二月八日、千代分村団長として出発渡満する。団員の方々も良く頑張って順調に上って来た。突然条約を破ってソ連軍が侵入して来て一瞬にして平和な村は地獄となった。村の倉庫には米、麦、大豆、小豆等豊富にあったが、人命第一との決断をして引揚げる事にする。子供を背負い、手を引き、昼も夜も歩き続けた。夜は隊とはぐれない様に前の人の腰につかまって歩く。ようやくハルピンの収容所に着く。収容生活一年余千代分村で亡くなった方々は収容所だった。翌年十月生存者全員が千代小学校に帰って来た。全国でも生存者全員が帰国出来たのはその例がない。民生委員になって引揚者の世話する。一生世の為人の為に尽す。六十九歳で永眠す。

ありがとう！「おたんじょうび本」

平成二十七年度から千代公民館では「おたんじょうび本」の企画を始めました。

子供達が集まって勉強を教えあったり遊んだり出来る場所を図書館にとの思いがありましたが、皆が図書館を利用しているわけでは有りません。そこで千代小、千栄小の全ての児童に「おたんじょうび本」を毎月プレゼントする事にしました。

公民館長、どんぐりの会会長、図書委員長が交代で全校生徒の前で渡しました。

昨年度初めて「おたんじょうび本」を手にした子供達は感謝の気持ちをお便りにして寄せてくれました。千代公民館に掲示して有りますので、お立ち寄りの際には是非ご覧下さい。

熊本地震の支援に
野池神社御柱祭実行委員会が募金活動

野池神社御柱祭実行委員会は第三回目の委員会を利用し、熊本地震被災者支援の募金活動を行った。不動温泉佐和屋に約四十人の実行委員が集まり、野池、芋平区赤十字奉仕団員の協力で募金への協力を呼び掛けた。

氏子総代長の大平宏さんは、「ほんの気持ちですが、被災地復興のために少しでも役立てば」と話された。

寄付していただいた義援金は、日本赤十字奉仕団を通して熊本地震の被災地に送られる予定。

告知板

○六月五日（日）「ワンふらバレー大会」
○六月十二日（日）「第十三分団消防技術大会」
○七月二日（土）「千代河鹿がえる祭り」
○七月九日（土）「万古渓谷栃の木ツアー」
○七月十六日（土）「千栄こども夏祭り」
○七月二十四日（日）「ふるさと竜東の集い」

ふるさと千代会（榊山次夫会長）より、おたんじょうび本プレゼント事業に対して寄付をいただきました。紙面を借りて、心より御礼申し上げます。おたんじょうび本には「ふるさと千代会より」と記載したスタンプを追加で押して子供達へプレゼントします。